



第 35 回

地域おこし協力隊が行く！

実は隣のスゴイ人



【今回のスゴイ人】
丸田 ちひろさん

曾於市内のスゴイ人にスゴイ人を紹介してもらうこのコーナー。前回のスゴイ人、東原 秋子さんにご紹介いただいたこの方は、「お店のポストカードを作っていたいただいた、全国レベルで活躍するスゴイ人」とのこと。インタビュアーは大村信夫でお届けします。

今

今回伺ったのは、大隅町

のご出身で雑誌やパッケージの色や模様を使って絵を作る

「ちぎり絵師」として活動されている丸田ちひろさん。熊本で

の個展や本の出版、化粧品メーカーからオーダーを

受けるなど幅広くご活躍されています。

「絵だと表現出来なかったものが、ちぎり絵だと表現出来るんです」と丸田さん。熊本のアパレル店で働きながら作品をつくっていたところ、店長がお客さんに紹介したり、ディスプレイしてもらえたりがあつて、徐々に購入者が増えていきました。その後ちぎり絵を本業にするため、制作に打ち込める環境をと大隅町に戻ってくることを決意。現在では口コミが広がりホームページから受注を行っています。大隅町にあるレストランおおすみでは、ちゃんぽんの作品が展示されていますよ。

お客さんのイメージを引き出し1つの作品を作り上げていく大変なお仕事。でも作品が完成した時にお客さんとのイメージが合致し「お客さんがそうそう！と言ってくれる時の快感がちぎり絵を続けている1番の理由です」と目を輝かせ話されています。今後は個展をまた開催したいそうです。

ちぎり絵の事を本当に楽しそうに話される姿を見て、自分もそう言える仕事に巡り会いたいと思えた今回の取材でした。作品が気になる方はネットで検索してみてくださいね。



協力隊の活動報告

着任から、はや5カ月目に。8月1日～5日まで、台湾と曾於市の国際文化交流の受け入れをしてきました。少しでも多く楽しい思い出を残してもらいたいと奔走していたはずが、輪の中で1番楽しんでいる自分が……。言葉が通じなくとも、心を通わせる事は出来るんだ！と改めて実感した5日間でした。現在は、SNSで曾於市内の情報を英語で配信をしています。今後は、民泊の開業支援や海外の方を呼び込む仕組み作り、英会話教室など幅広く活動していきます。よそ者の力と曾於市の皆さんの力を合わせると、曾於市はまだ面白くなっていくな—と思いながら心を躍らせ今後も頑張っていきます。

Instagram アカウント @ whats_soo_city



大村 信夫